月島ホールディングス株式会社

証券コード:6332

会社説明資料

2025年1月9日

月島ホールディングス㈱の強み

1. 創業以来、120年受け継いできた高度な技術力(機械メーカーとエンジニアリング会社の両面を備える)
2. 地球温暖化に対応し、脱炭素社会に貢献する環境カンパニー
3. 水環境事業(公共水インフラ)と産業事業(産業機械・プラント)の両輪による安定経営
4. 安定配当を基本とし、配当性向は50%以上(25.3期)

目次

1. 会社概要、当社事業の強み

2. 事業環境・推移、業績予想、中期経営計画

3. 株価動向、株主還元方針

【用語集】

- EPC　・・・プラント・機器の設計、調達、建設（Engineering、Procurement、Construction）
- O&M　・・・設備の運転管理、補修工事、部品供給などのアフターサービス（Operation & Maintenance）
- PFI　・・・公共施設等の設計、建設、維持管理および運営に、民間資金とノウハウを活用し、効率的な公共サービスの提供を図る方式（Private Finance Initiative）
- DBO　・・・PFIに類似した事業方式の一つで、公共が資金調達を負担し、設計・建設、運営を民間に委託する方式（Design Build Operate）

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

Section 1

会社概要、当社事業の強み

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要

商号	月島ホールディングス株式会社
代表取締役社長	川﨑　淳
創業・設立	1905年(明治38年)8月　創業 1917年(大正　6年)5月　設立
所在地	東京都中央区晴海三丁目5番1号
資本金	6,646百万円
発行済株式総数	45,625,800株
1単元の株式数	100株
従業員数	3,546名(連結)、107名(単体) (2024年9月末現在)

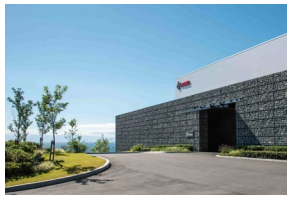
パーパス
「環境技術で世界に貢献し未来を創る」

- 今年で創業120周年を迎える機械・エンジニアリング会社
- 技術で産業の発展と環境問題の解決に貢献

本社
(東京都中央区)

R&Dセンター
(千葉県八千代市)

月島機械 室蘭工場(北海道室蘭市)



プライミクス 本社・工場(兵庫県淡路市)

三進工業 本社・工場(神奈川県川崎市)

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社グループの歴史

月島ホールディングス

- 産業機械の近代化と、公害問題の対応に貢献
- 近年は、M&A等で事業拡大

近代産業の勃興	工業の発展	高度経済成長、公害問題	エネルギー、ライフサイエンス分野への展開
創業　産業機械の国産化	事業拡大　化学・鉄鋼分野への進出	環境分野への進出　上下水道分野に参入	新たなる領域へ　M&Aで事業拡大
1900年代～	1930年代～	1960年代～	2000年代～
ほぼ輸入品であった産業機械の国産化に貢献	産業機械の近代化に貢献	公害問題に対応し環境インフラの整備に貢献	快適な環境とクリーンエネルギーを創出する設備を提供 ライフサイエンス分野の拡大（化粧品・医薬など）
当時、国内産業は海外製の機械を輸入食品、化学向け機械の国産化に成功	繊維、肥料、紙パルプなどの分野に進出事業を拡大し、国内産業の近代化に貢献	上下水道の普及に伴い増加する汚泥量に対応。脱水・乾燥・焼却で高いシェアを獲得	地球温暖化などの環境問題が深刻化するなか、今まで培った技術を環境・エネルギー分野に展開。ライフサイエンス分野では従来の食品に加え、化粧品・医薬にも進出し、社会へ貢献

機械製造（祖業）

― 創業の精神 ―

ほとんど輸入であった諸産業の機械装置を国産化し、製糖産業を出発点として、化学工業、金属精錬等の興隆に奉仕する

1905年　月島機械製作所として創業

製糖用分離機（砂糖の結晶を分離）
国内外で1,000基以上の納入実績

産業事業（化学、鉄鋼など）

製糖分野で培った晶析、分離、乾燥などの技術を化学、鉄鋼分野に展開

産業用大型乾燥機
（スチームチューブドライヤ）

DP型晶析装置

水環境事業（上下水道）

産業分野で培ったろ過、乾燥、焼却技術を浄水場、下水処理場で発生する汚泥処理に展開

竪型フィルタプレス
汚泥含水率を大幅に低減
全国の上下水道施設で活躍

下水汚泥用乾燥機
幅広い性状に対応する乾燥機
国内のみならず海外にも展開

現在の事業展開

環境分野（地球温暖化防止）

汚泥燃料化

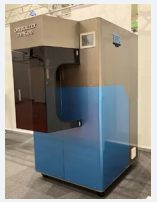
バイオガス発電

環境分野（廃棄物処理）

固形物焼却

ごみ焼却施設工事

エネルギー分野（リチウムイオン電池）



正極材向け超微粒子製造装置

電極スラリー製造向け高速攪拌機

ライフサイエンス分野

化粧品向け乳化装置

食品向け粉体計量・混合装置

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業構成

月島ホールディングス株式会社

水環境事業

快適な水環境を提供する上下水道などの
水インフラや、運転管理などのサービスを提供

水インフラ

浄水、下水処理施設などの機器・プラント

汚泥脱水機（浄水場）

汚泥焼却炉（下水処理場）

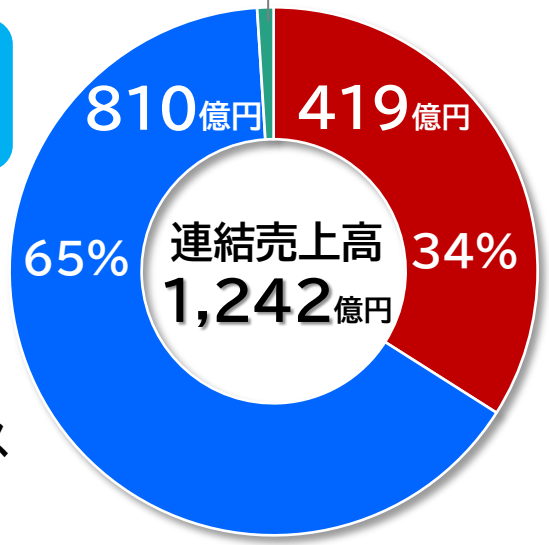
国内シェア No.1（約3割）
シェアは当社調べ

ライフサイクルビジネス

浄水、下水処理設備などの運転管理、メンテナンス

- 自治体から、浄水場、下水処理場の運転管理を受託（全国約150ヵ所）
- 設備の補修などのメンテナンスも担当

設備のメンテナンス



産業事業

豊かで快適な暮らしを支える素材を作る
機械・プラントやメンテナンスなどのサービスを提供

産業インフラ

化学、エネルギー、食品、化粧品などの分野の機器（乾燥機、ろ過機、攪拌機など）、プラント

乾燥機

海外プラント

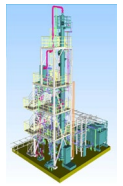
近年は、電気自動車向けリチウムイオン電池の材料を作る機械に注力

環境

廃棄物の焼却設備、排ガス・排水処理設備

- 液体、固体状の産業廃棄物を焼却
- 半導体分野では、工場排水に含まれるアンモニア回収・処理に対応

固形物焼却設備



アンモニア回収設備

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社事業の強み　グループのバリューチェーン

月島ホールディングス

開発・設計から、製造・建設、運転管理、事業運営まで、グループ会社で一貫して手掛けることができるバリューチェーンを保有

開発	EPC『エンジニアリング』	製造『ものづくり』	O&M『アフターサービス』	EPC+O&M『事業運営』
●研究開発 ●顧客が立ち合いテスト実施	●営業、計画 ●設計、調達、建設	●製造	●運転管理、補修	●事業運営

R&Dセンター

グループ会社工場 など

廃棄物処理事業

バイオガス発電事業

競争力の源泉となる新商品を開発

- 各種テスト機を保有、ラボ実験、パイロット試験に対応
- 得られたサンプルは、速やかに分析可能

当社グループの屋台骨M&Aで事業領域を拡大

主力製品は自社設計・製造

主要な機器・プラント

汚泥脱水機（浄水場）

乾燥機

高速攪拌機

アフターサービス・事業運営は安定収益源（ストックビジネス）

- 自治体より、浄水場、下水処理場、し尿処理場などの運転管理、メンテナンスなどのアフターサービスを受託また、下水処理場でグリーン電力事業を実施
- 産業/一般廃棄物を受け入れて焼却処理する廃棄物事業を実施（栃木県鹿沼市）

⇒これらは、ストックビジネスとして安定的に収益貢献

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社事業の強み　水環境事業

月島ホールディングス

※シェアは当社調べ

水インフラ　浄水、下水処理施設などの機器・プラント

- 浄水場、下水処理場等の汚泥処理で**豊富な実績**「**汚泥処理のトップメーカー**」としてのブランドの確立（脱水/乾燥/焼却）
- 2023年10月にJFEエンジニアリングの国内水エンジニアリング事業を統合
- **地球温暖化防止、資源循環に貢献**する技術を豊富にラインナップ
- 海外の上下水道プラント、機器も展開

当社納入機器は日本の汚水処理量の約1／3に貢献

ライフサイクルビジネス　浄水、下水処理設備等の運転管理

- 浄水場、下水処理場、し尿処理場などで**運転管理**を**約150ヵ所**で受託（**国内トップクラスのシェア**）
- 下水処理場で発生する**バイオガスを活用した発電事業**を積極的に展開（**国内トップシェア**、**受注27件**）
- 設備の建設と長期の維持管理（～20年）が一体となった官民連携事業（PFI、DBOなど）に**34件参画**

●地球温暖化防止に貢献する技術、事業

バイオガス発電事業

下水汚泥をメタン発酵した際に発生するバイオガスを利用した発電事業

発電能力：
一般家庭の約3万2，500世帯分

下水汚泥燃料化事業

下水汚泥を再生可能エネルギーとして利用可能な燃料に変換し、ボイラなどで活用

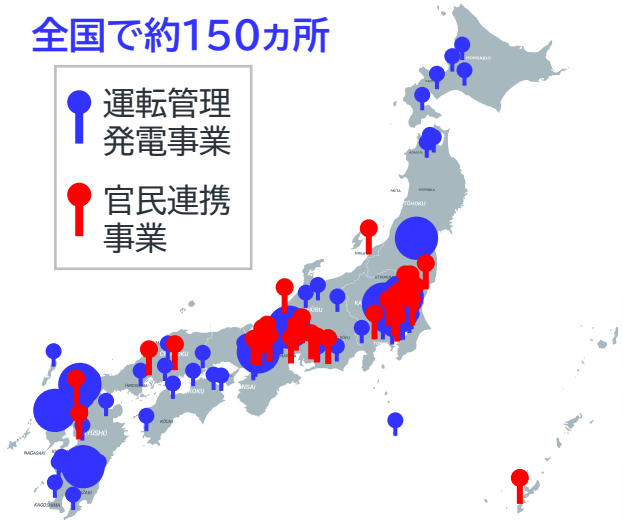
CO_2削減量：
一般家庭の約2万8,000世帯分

下水からのリン回収

日本は、肥料原料となるリンを輸入に依存。肥料の国産化・安定供給のために、下水からのリン回収を実証試験中

●運転管理、官民連携事業の機場

全国で約150ヵ所



©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社事業の強み　水環境事業

月島ホールディングス

※シェアは当社調べ

JFEエンジニアリング㈱との上下水道における事業統合効果

補完 **上水分野**　両社の技術が補完されることにより、一気通貫で浄水場設備の更新対応が可能になります。

JFEエンジの強み

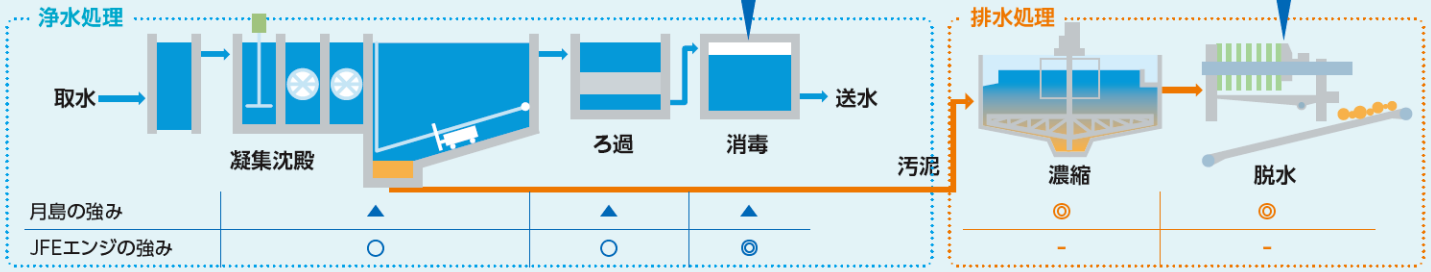
国内初の塩素滅菌機メーカー（月島ジェイアクアサービス機器）として、公衆衛生の確保に大きく貢献

薬品注入機

月島の強み

国内でトップクラスの実績

加圧脱水機



	凝集沈殿	ろ過	消毒	濃縮	脱水
月島の強み	▲	▲	▲	◎	◎
JFEエンジの強み	○	○	◎	-	-

統合 **下水分野**　互いに強みを持つ汚泥処理技術が統合されることで、ラインナップが充実し提案力が強化されます。

ラインナップ充実（消化）

鋼板製消化槽、消化槽撹拌機、ガスエンジン、脱硫などの消化関連機器ラインナップが充実

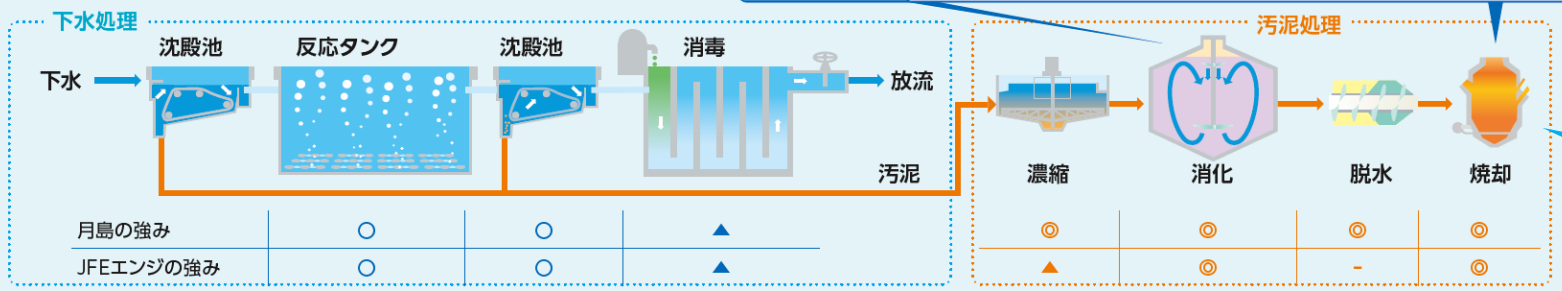
鋼板製消化槽

ラインナップ充実（焼却）

次世代型汚泥焼却システム

発電型汚泥焼却技術 OdySSEA（オデッセア）

省エネルギー型焼却炉「次世代型汚泥焼却システム」に加え、発電型焼却炉もラインナップに加わる。国内焼却炉シェアは約3割となり、国内トップシェアに※



	沈殿池	反応タンク	沈殿池	消毒	濃縮	消化	脱水	焼却
月島の強み	○	○	▲		◎	◎	◎	◎
JFEエンジの強み	○	○	▲		▲	◎	-	◎

JFEエンジ：
水をキレイにする「浄水処理」が得意

＋

月島：
水をキレイにした際に発生する「汚泥処理」が得意

両社の技術が補完され、一気通貫で浄水場の更新案件に対応可能

月島、JFEエンジともに、下水をキレイにした際に発生する「汚泥処理」が得意

製品ラインナップが充実、提案力が強化され、シェアが拡大

汚泥焼却炉の国内シェアNo.1
（約3割）

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社事業の強み　産業事業

月島ホールディングス

産業インフラ　化学・エネルギー・食品・鉄鋼分野向けのプラント、機器

- プラントは、化学・食品分野を中心に多数の実績あり
  機器は、乾燥機、ろ過機、撹拌機、遠心分離機など、多種多様な製品を国内外に展開
- 近年は、電気自動車向けの**リチウムイオン二次電池分野へも展開**

環境　廃棄物の焼却設備、排ガス・排水処理設備など

- 扱いが難しい**廃液**を処理する**燃焼設備**、**固形廃棄物**の**焼却設備**
- **半導体分野**では、工場排水中の**アンモニア回収・処理**に対応
- ごみ焼却炉などのプラント建設、補修工事にも対応
- 一般／産業廃棄物の焼却処理事業を展開

近年は、技術共通性の高い会社を積極的にM&A

2005年　日鉄化工機(株)(現 月島環境エンジニアリング㈱)、
2014年　BOKELA GmbH(ドイツ)、大同ケミカルエンジニアリング㈱(現 月島環境エンジニアリング㈱)
2017年　三進工業㈱、
2020年 プライミクス㈱

▶ **技術シナジーを発揮して新たな事業展開を加速**

●納入事例

化学

ペットボトルや衣類の原料となる樹脂の乾燥（乾燥機）

食品

砂糖の結晶を分離する機械（遠心分離機）

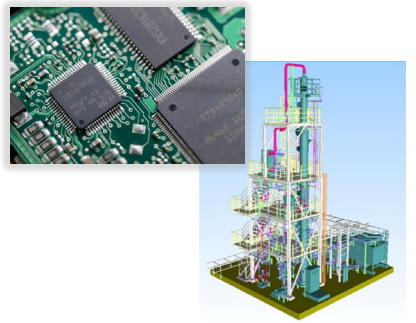
生活

乳液、シャンプー、リンスなどの化粧品の製造（高速攪拌機）

自動車

電気自動車向け電池の材料を作る機械（晶析装置）

環境



半導体製造工場排水に含まれるアンモニアを回収、処理（排水処理）

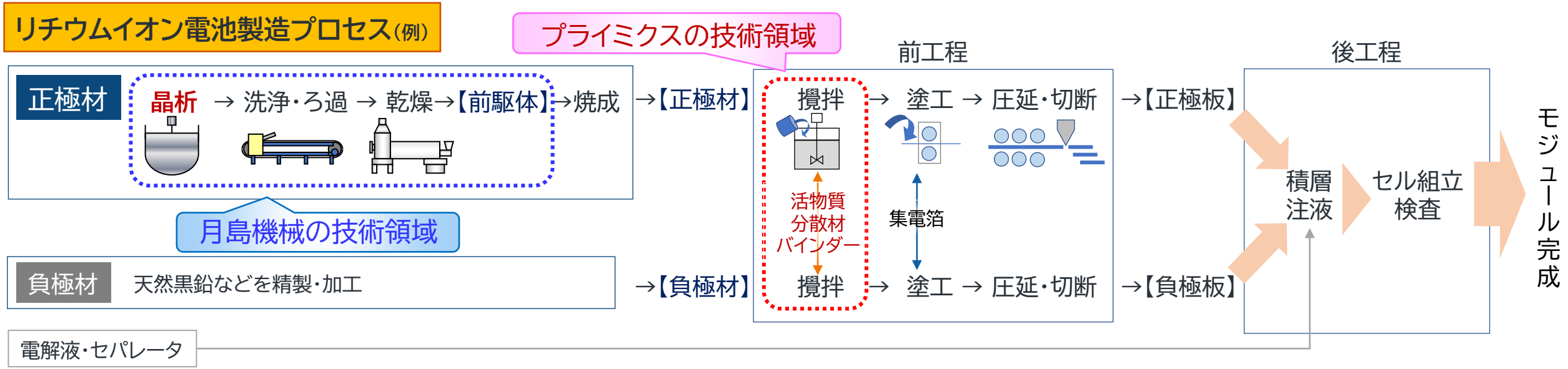
©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社事業の強み　産業事業

当社グループのリチウムイオン電池製造プロセスの取組

・・・電池製造プロセスには、事業会社の月島機械とプライミクスが取り組んでいる

リチウムイオン電池製造プロセス(例)



●月島機械の取組

- 電池性能を左右する重要な物質である正極材を製造する機器(特に、晶析)に注力
  正極材:プラスの電極の役目を担う物質
  晶析　:各種原料を混合して結晶の粒子を作ること
- 現行の微粒子製造晶析装置の実績は国内外で100台以上
- さらなる差別化を図るべく、粒子をさらに細かくできる『超微粒子晶析装置』を開発、初号機受注を目指す

超微粒子晶析装置
CRYSTALLEX® Type DD

●プライミクスの取組

- 1990年代にリチウムイオン二次電池分野に参入
- 電極の材料を高粘度スラリー(泥状の液体)に均一に分散させる工程で、同社の攪拌機を適用
- 強力な撹拌力を持つ『高速攪拌機(フィルミックス®)』は、従来の攪拌機では実現できなかった粒子の微細化・均一化が可能(剪断力が従来機種の100倍)
- 直近では、全固体電池など次世代電池向けの取り組みも加速

高速攪拌機
(フィルミックス®)

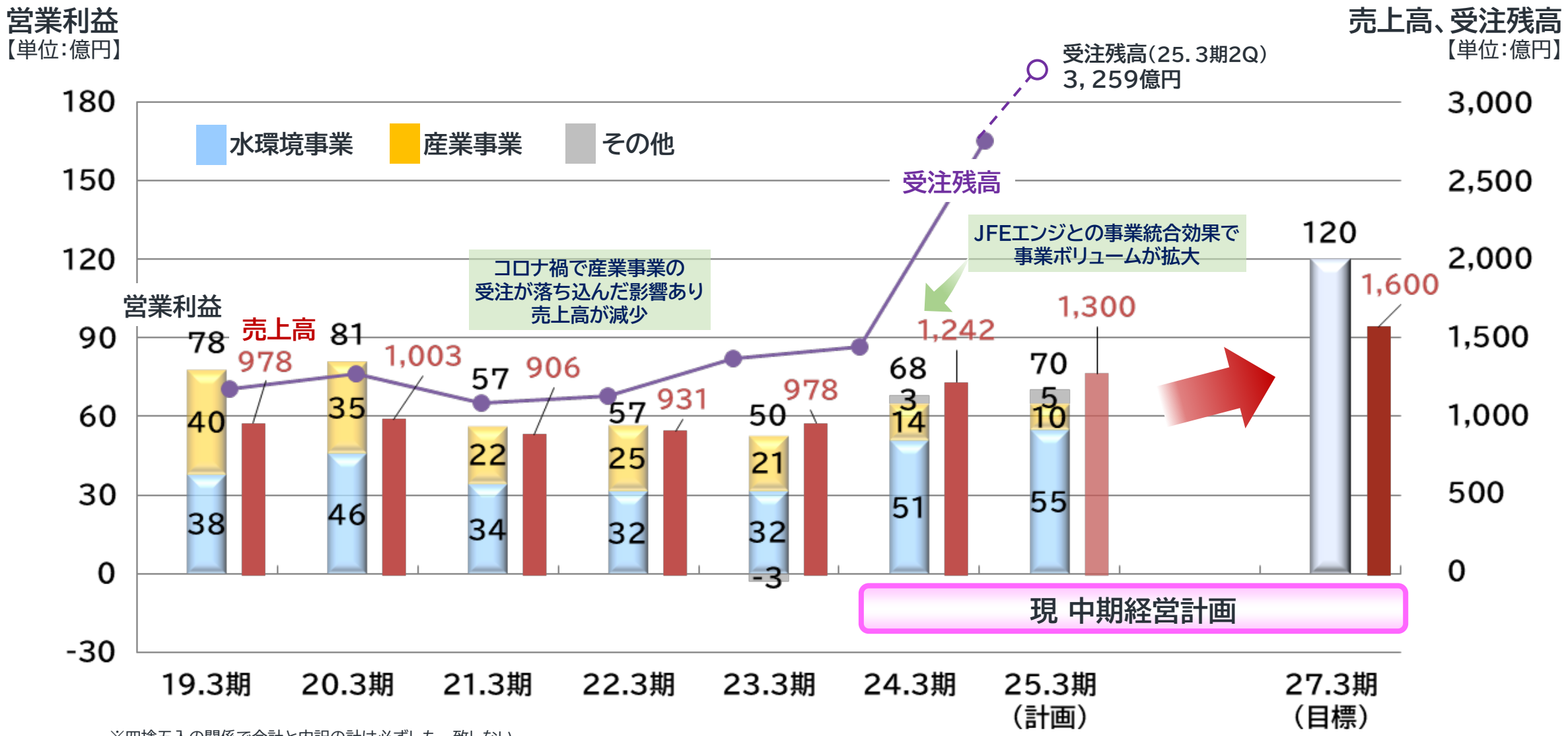
©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

Section 2

業績推移・予想、中期経営計画

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移



※四捨五入の関係で合計と内訳の計は必ずしも一致しない

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

25.3期 連結損益予想

月島ホールディングス

- 受注高は、水環境、産業ともに大型案件が貢献することから、2Qで上方修正、1,700億円を目指す
- 売上高は1,300億円、営業利益は70億円を目指す
- 営業利益は、前期比で増収効果はあるものの、販管費増加の影響で微増、当期純利益は、44億円を目指す

【単位：億円】	24.3期 実績	25.3期 予想	増減
受注高	1,653	1,700	+47
売上高	1,242	1,300	+58
営業利益	68	70	+2
営業利益率	5.4%	5.4%	±0%
親会社株主に帰属する当期純利益	27	44	+17
ＥＢＩＴＤＡ	104	106	+2
ROIC	4.2%	約4%	―
ROE	3.2%	約5%	―

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

25.3期 連結損益予想

月島ホールディングス

- 水環境　統合費用などの一過性の費用は解消するものの、事業統合によるのれん・無形固定資産の償却により、小幅増益
- 産業　　増収も、案件の構成差により、減益
- その他　物流施設の不動産取得税が解消し、増益

【単位：億円】		24.3期実績	25.3期 計画	期首からの修正	増減
受注高	水環境	1,240	1,200	(+100)	△40
	産業	400	485	(+ 20)	+85
	その他	13	15		+2
	計	1,653	1,700		+47
売上高	水環境	810	850		+40
	産業	419	435		+16
	その他	13	15		+2
	計	1,242	1,300		+58
営業利益	水環境 （営業利益率）	51 6.3%	55 6.5%		+4 +0.2%
	産業 （営業利益率）	14 3.3%	10 2.3%		△4 △1.0%
	その他 （営業利益率）	3 22.9%	5 33.3%		+2 +10.4%
	計	68	70		+2

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画

月島ホールディングス

前中期経営計画（20.3期～23.3期）

23.3期

売上高	978億円
営業利益	50億円
ROE	5.2%

中期経営計画（24.3期～27.3期）

2030年の長期ビジョンを目指すためのファーストステップの位置付け
事業領域の拡充を図る

27.3期

売上高	1,600億円
営業利益	120億円
ROIC	7%以上
ROE	8%以上

基本方針

1. サステナビリティ経営の推進
2. 事業領域の拡充とグループ収益力の強化
3. 資本効率の向上と株主還元の拡充

次期中期経営計画（28.3期～30.3期）

サステナビリティ経営の定着
重点領域の進化でさらなる成長へ

30.3期

売上高	2,000億円
営業利益	150億円
ROIC	8%以上
ROE	9%以上

長期ビジョン（2030年）

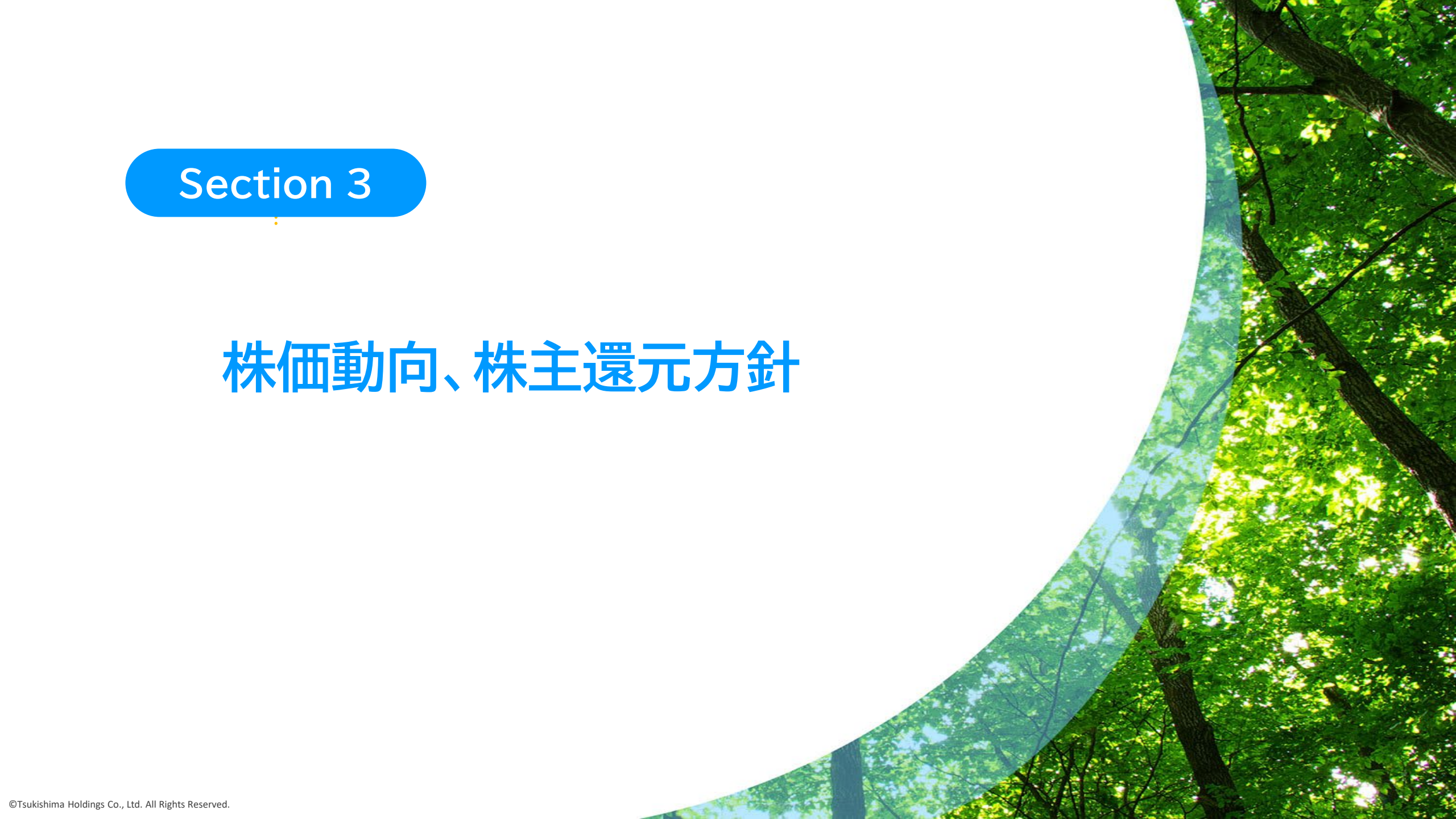
豊かな生活・文化の創造に貢献し、
快適でサステナブルな社会を実現する

長期ビジョン（2030年）

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

Section 3

株価動向、株主還元方針



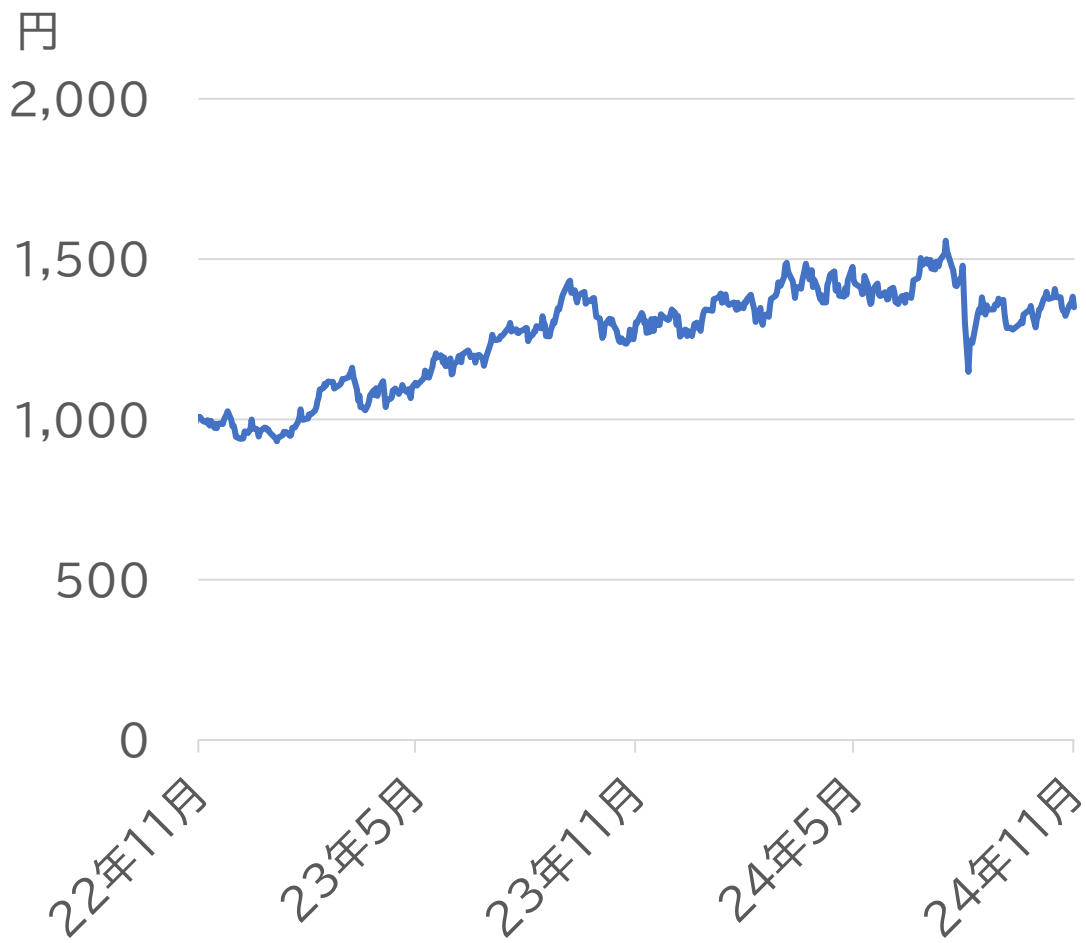
©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

株価の推移、株主優待

月島ホールディングス

株価の動向

1単元の株式数　100株



株主優待

1000株以上ご所有の株主様

新米（魚沼産こしひかり） 4kgを進呈

対象：

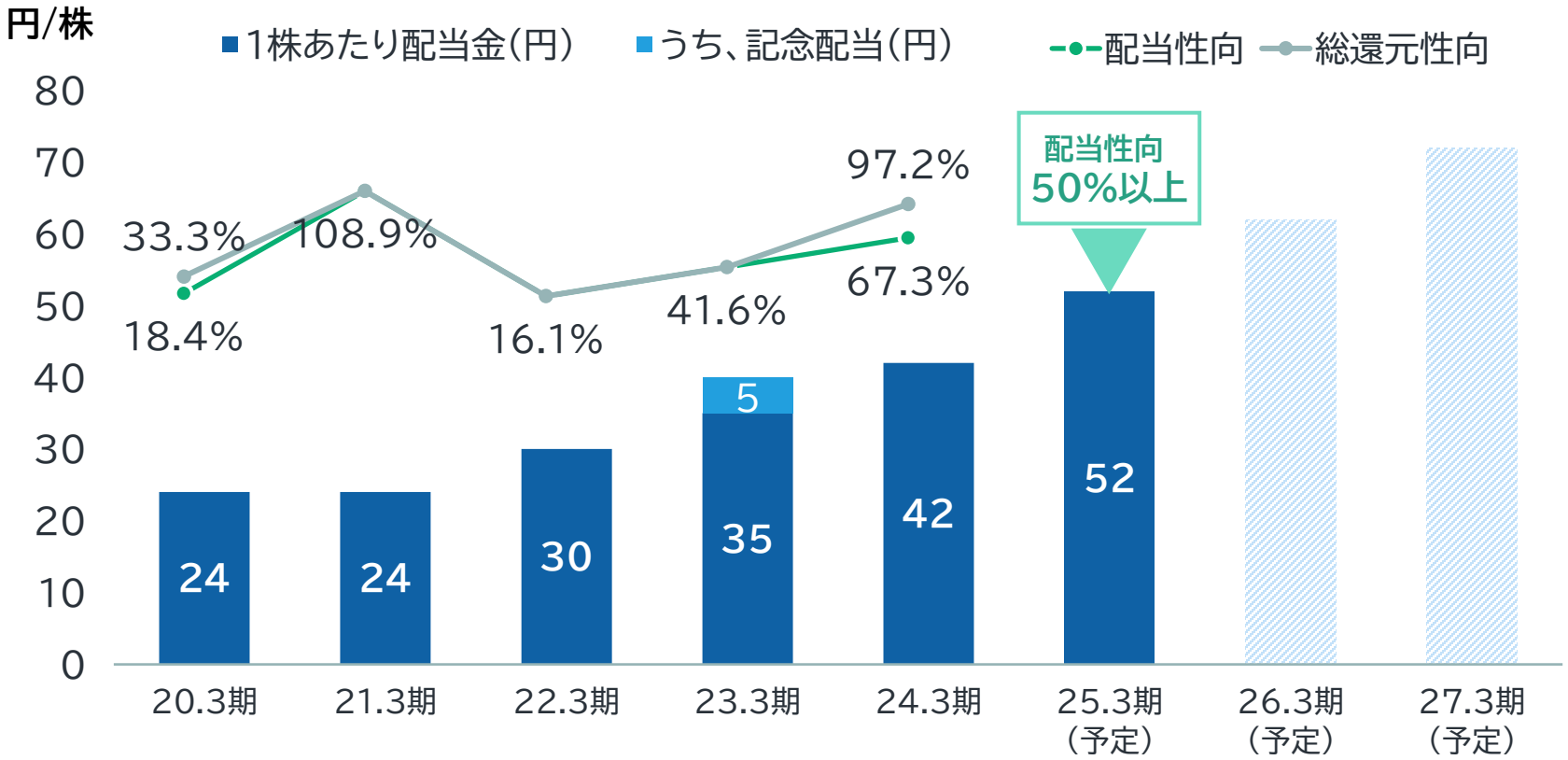
- 毎年3月末日の株主名簿において、1,000株以上ご所有の株主様
- 上記株主様を除き、4月以降に当社株式を新規若しくは追加でご取得され、 9月末日において合計して1,000株以上ご所有の株主様

3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様に対しましては、さらに2kgを追加

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元方針

- 政策保有株式の売却と検討中の設備投資の時期を見直し、25. 3期の**配当性向の目標を50%以上 に拡充**
- 引き続き、安定的な配当と継続的な増配(25. 3期は＋10円/株予定)に努める
- 自己株式取得は、市場環境や財務状況等を踏まえて実施の是非を検討



株主還元方針の見直し

	改訂前	25. 3期
総還元性向	50%以上	50%以上 (変更なし)
配当性向	40%以上	50%以上

※21.3期はプライミクスの減損により配当性向は108.9%　減損を考慮しない利益を基準とした場合は約30%

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

お問い合わせ先
月島ホールディングス株式会社　広報室
〒104-0053　東京都中央区晴海三丁目5番1号
TEL:（03）5560-6503

ホームページ　：https://www.tsk-g.co.jp
IR情報ページ：https://www.tsk-g.co.jp/ir/

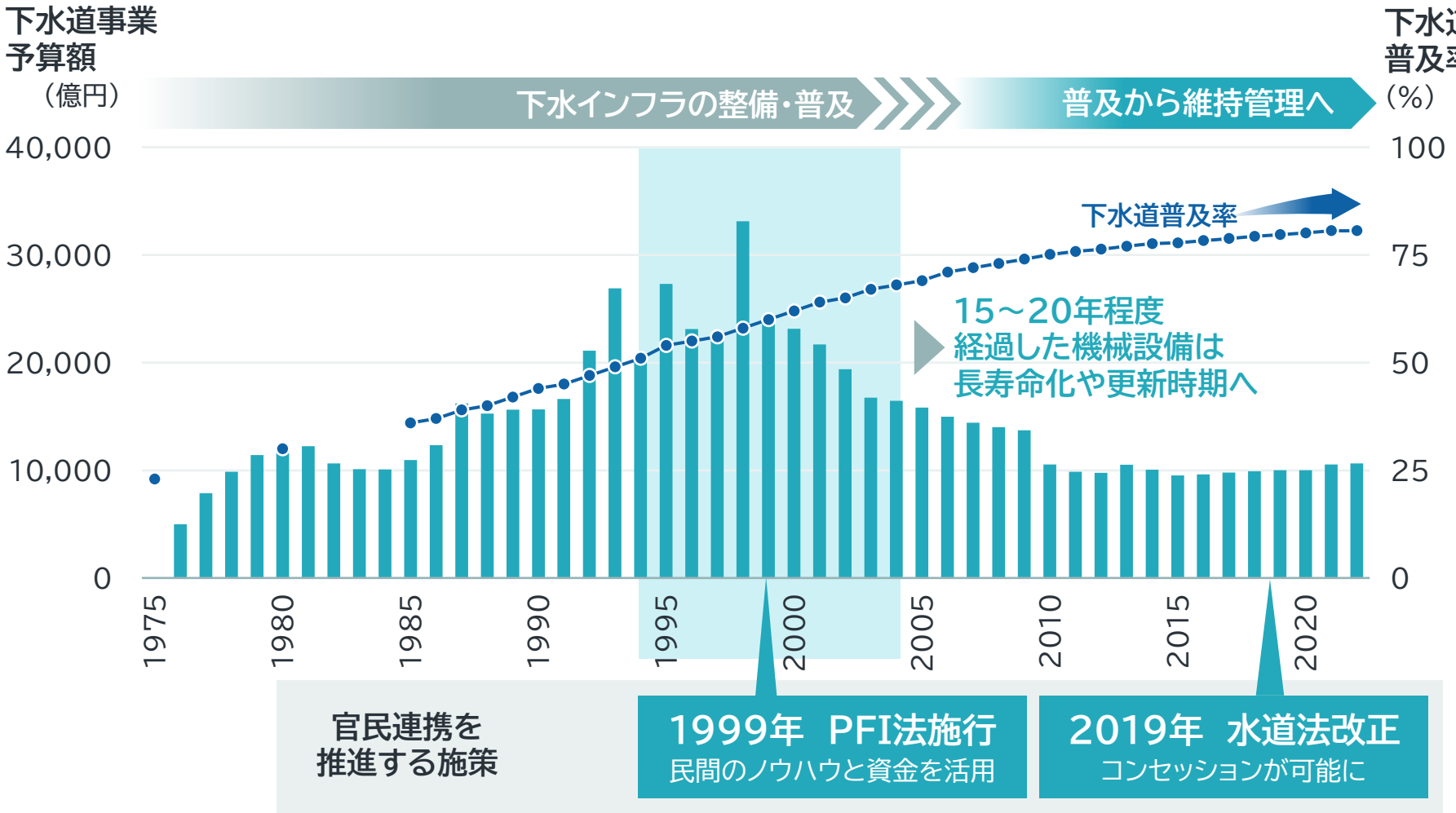
1. 本資料に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。従い、その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

【補足資料】事業環境　水環境事業　下水道市場を例として

月島ホールディングス

下水道事業予算額と下水道普及率の推移



（出典：国土交通省資料）

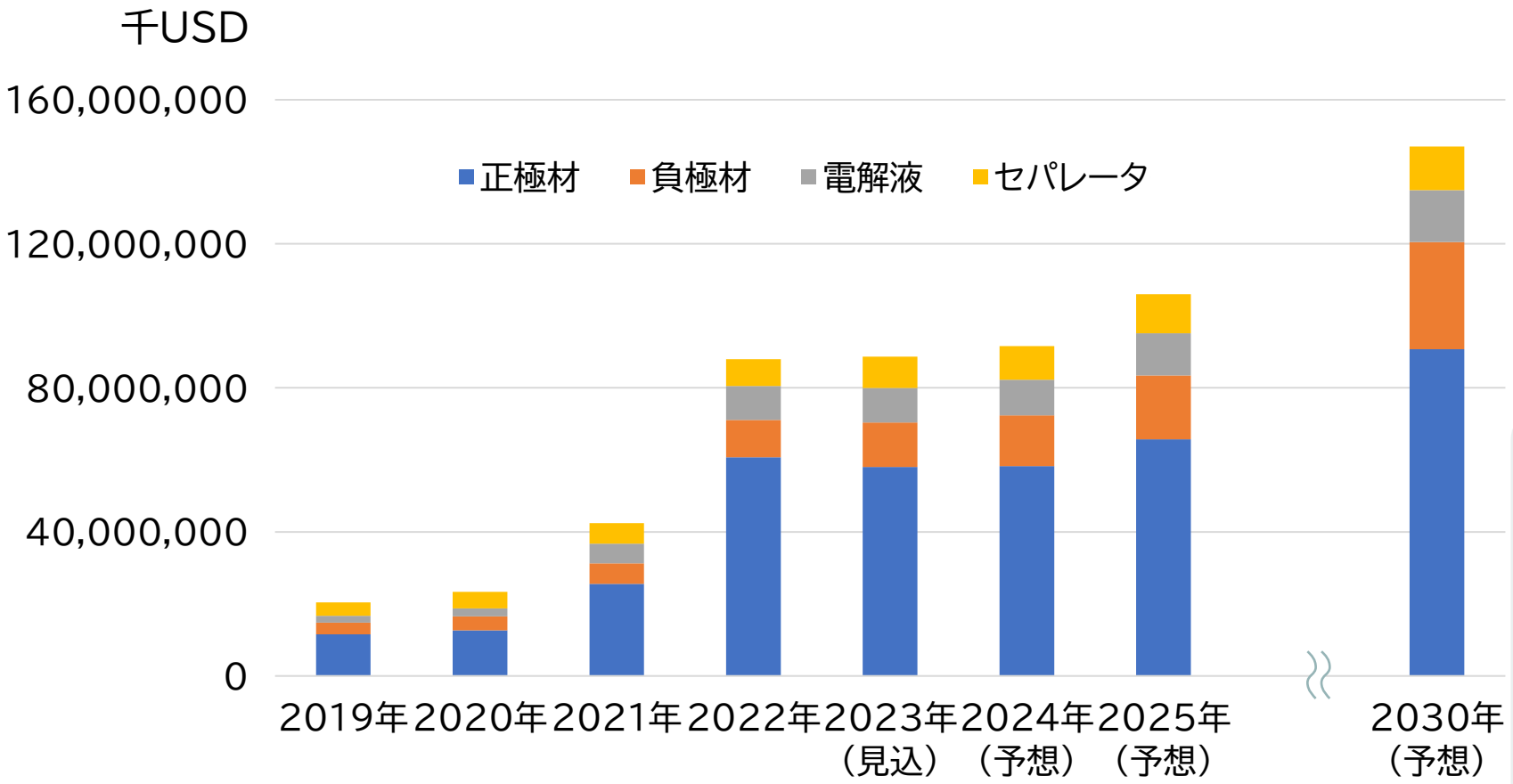
- 機械設備の耐用年数は15～20年程度。補修などの長寿命化により使用年数は延びているものの、1990年代後半～2000年代前半に建設した設備の更新時期を迎えている
- 下水道事業予算額は徐々に回復傾向
- 足元の設備更新需要のニーズは強く、事業環境は好調

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

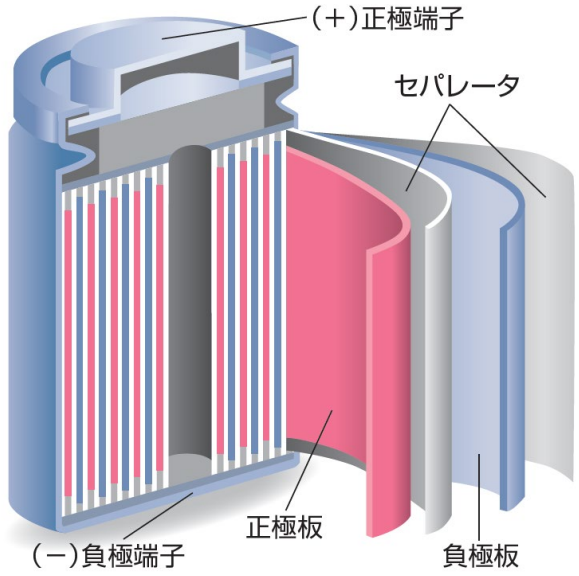
【補足資料】事業環境　産業事業　リチウムイオン電池材料を例として

月島ホールディングス

車載用リチウムイオン電池の世界市場



リチウムイオン電池(LiB)主要四部材　世界市場規模推移と予測



- 電気自動車の市場は成長が期待されているが、足元では補助金削減等の影響により踊り場となり、調整期がきている
- 当社グループの電池ビジネスの顧客からは、全固体電池などの次世代型電池の引き合いが増えている
- このような状況から、中長期的には電池ビジネスの市場は伸びていくと予想

©Tsukishima Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.